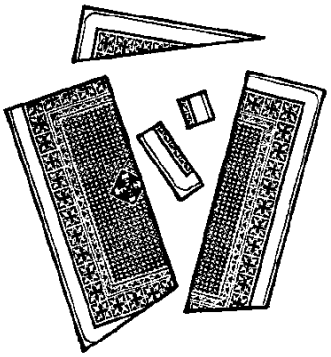
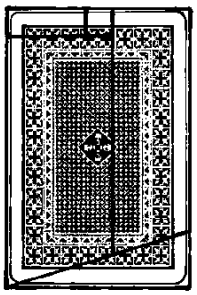
7.2　図形消滅マジック

数学セミナーに図形を使ったマジックが載っていたので紹介します。以下本文からです。

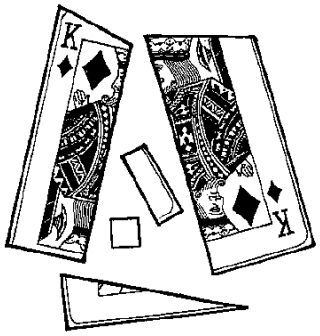
T:「先日，ボクはある友人にカードを出して，切ってくださいといったところ，何を勘違いしたのか，はさみでカードを切りきざんでしまったので。見てください。」



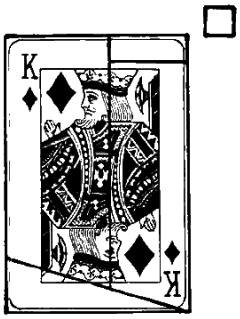
T:「さて，君にやってもらいたいのは，これをジグゾー・パズルのように組み立てて，元どおりにしてもらうことだ。」



T:「ようし完成だ。拍手を…。せっかく並べてくれたけど，一度元に戻してみてください。そして表にしてください。」



T:「こんども同じように，元どおりにしてください。」



T:「ようしできた。でも，これ (正方形の小片) どうしよう？」

7.2.1　作ってみたい人のために

かなり古い数学セミナーの記事を元にした教材である。記事の中にはこのマジックの基礎となる理論も紹介されている。以下は本文からの抜粋である。

> 先日，私はこのパズルを学生にやらせてみたところ，馬鹿うけした。読者の方で試されたい方もいると思われるので，ここに附録としてつけておこう。
>
> まず，図のトランプの図柄をコピーする。そして，台紙となる画用紙を用意する。トランプの裏側の図面を画用紙に重ね，5 片の形状を決める各点をコンパスの針で印しをつける。合計 10 箇所あるはずだ。つぎに，印しをつけた画用紙に定規で線を引く，トランプの裏側と同じ形状になればよい。
>
> ここで，画用紙とトランプの裏表のすべての切片をはさみで切る。そして，のりづけをする。のりづけには，間違いのないように特に注意を払って欲しい。これでマジックの種は作成されたことになる。
>
> トランプの裏と表は一見，等寸のように思えるだろう。そこが違うのだ。横幅は同じだが，たて幅は表側の方が約 2 ㎜短くしてある。短くしてある理由は当然おわかりであろう。
>
> さて，マジックのやり方である。手順は，ポール・ダニエルズのようにやればよい。会話を巧みにすること，操作はすべて客にやらせて何の仕掛けもないという印象を与えること，1 回しかやらないことなどがポイントだ。何回もしているうちに種もばれてくるから，裏側のそろえられた状態で，そのまま表を向けさせないよう，特に注意することが大切だ。
>
> いろいろ，工夫をすればよい。このパズルを演ずる君は，きっとマジシャン気分になれ，拍手喝采は間違いないだろう。(にしやまゆたか／大阪経済大学)
>
> (参考文献：数学セミナー 1987 年 11 月号)